

令和元年9月11日(水)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表:尾崎正直高知県知事)が、国土交通省の阿達雅志大臣政務官と池田豊人道路局長、財務省の太田充主計局長に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や「高速道路における安全・安心計画」による、暫定2車線区間の4車線化などについて提言を行いました。

■阿達雅志 大臣政務官への提言



▲左から 横山安芸市長、清水愛南町長、海野徳島県副知事、佐伯四国経済連合会会長、尾崎高知県知事、阿達大臣政務官、中村愛媛県知事、片山香川県土木部長

阿達雅志大臣政務官

- ・四国8の字ネットワークは、防災、物流、観光など多くの面で非常に重要である。

●尾崎高知県知事

- ・鮮魚の消費圏域拡大や落石・崩壊危険箇所の回避など、地域経済の活性化や中山間地域の暮らしを支える四国8の字ネットワークの早期整備が不可欠。

●中村愛媛県知事

- ・津島道路に引続き、南海トラフ地震発生時に津波が押し寄せる地域である「内海～宿毛」の早期事業化をお願いする。また、大規模災害時にも有効な暫定2車線区間の4車線化をお願いする。

■池田豊人 道路局長への提言



▲左から 枅富牟岐町長、横山安芸市長、杉本愛媛県土木部長、尾崎高知県知事、池田道路局長、佐伯四国経済連合会会長、海野徳島県副知事、清水愛南町長、片山香川県土木部長、花本上勝町長

池田豊人道路局長

- ・四国8の字ネットワークのミッシングリンクの解消に向けて取り組んでいく。

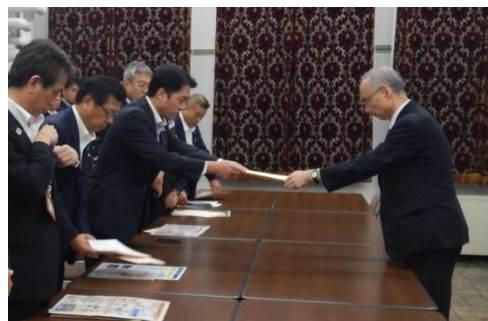
●佐伯四国経済連合会会長

- ・豊かな観光資源を有効に活用し、人を呼び込むためにも四国の西南地域及び東南地域の四国8の字ネットワークのミッシングリンク早期解消をお願いする。

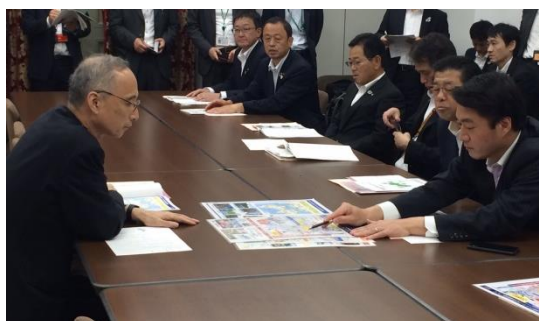
●海野徳島県副知事

- ・南海トラフ地震発生時には、20mを超える津波が襲来し、唯一の幹線道路である国道が寸断する。沿岸部の高速道路の早期整備と安全・安心計画による暫定2車線区間の4車線化をお願いする。

■太田充 主計局長への提言



▲尾崎高知県知事から太田主計局長へ提言書を手交



▲尾崎高知県知事から太田主計局長に提言

●片山香川県土木部長

- ・高松自動車道の完全4車線化により、時間短縮やGWの渋滞回数の減少など着実に効果が表れている。何より、安全・安心な通行が確保されたことに感謝している。

太田充主計局長

- ・防災・減災、国土強靱化は3年間で終わるわけではない。3年目以降の予算確保のためにも公共事業予算全体の見直しや重点課題について検討を行っていく必要がある。